

1. 科目名（単位 数）	英語コミュニケーションⅥ（2単位）	3. 科目番号	EDEN3322
2. 授業担当教員	茂木 隆資		
4. 授業形態	Listening practice, English conversation, Building vocabulary, Presentation and Discussions	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	英語コミュニケーションⅠからⅤを履修していること。		
7. 講義概要	この授業は英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵシリーズの最後の授業である。英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ及びⅤで学習した内容を習得した上に成り立つ講義内容となる。国際共通語としての英語をコミュニケーションツールと捉え、実践的なコミュニケーション能力を養う。基本はすべて英語での授業である。リスニングの練習活動を中心とし、実践的な英語でのコミュニケーション活動を通して「話す」「聞く」「読む」「書く」力を養う。母語は言語習得において助けになり邪魔とはならない。補足的に母語での指示、解説がなされる。英語を話すということは、その言語の話されている文化的背景、どのようなシチュエーションでどの表現方法が正しいのかなどの社会言語学的知識を伴い始めて成立することから、それらも考慮しながらコミュニケーション能力向上を目指す。理解可能な英語による言語インプットを多用し、理解を確かめながら英語でインタラクティブを進めていく柔軟な調整能力を身に付けていく。		
8. 学習目標	1. 様々なジャンルや話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 2. 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。 3. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で話すこと〔やり取り・発表〕ができる。 4. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。 5. 複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。 6. 自身の学習傾向を把握し、自分に合った学習方法を選び学習することができる。 7. 批判的思考を学習に生かすことができる。 8. 自信を持って、英語で交流しようとするすることができる。 9. 社会言語学的知識を活かした英語交流ができる。 10.自己評価において上記の到達目標に届いていることが確認できる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	各回のReadingについては音読ができるようにしておくこと。また、意味の分からない語句については辞書などを使って調べておくこと。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 Chat and Share Topic Starters for Today's Students 話してみよう！ トピックベースの英会話 Diane H.Nagatomo 著 金星堂		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の基準 1. 様々なジャンルや話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解することができた。 2. 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えを理解することができた。 3. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で話すこと「やり取り・発表」ができた。 4. 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語を書くことができた。 5. 複数の領域を統合した言語活動を遂行できた。 6. 自身の学習傾向を把握し、自分に合った学習方法を選び学習できた。 7. 批判的思考を学習に生かすことができた。 8. 自信を持って、英語で交流することができた。 9. 社会言語学知識を活かした英語交流ができた。 10.自己評価において上記の到達目標に届いていることが確認できた。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、口頭発表、テスト等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 試験 総合点の60％ 3 課題（口頭、筆記） 総合点の10％		
12. 受講生への メッセージ	身近な話題や社会的な関心事について英文を読んだり、対話したり、自己表現を行う。それぞれのトピックについて教科書の内容だけでなく、自分の考えをまとめ、英語で話せる力をつけよう。英語が求められる教員採用試験や就職試験に対応できるコミュニケーション力をつけることを授業の狙いとする。授業は基本的に英語のみで行うので、そのつもりでいてほしいが、学生の理解度を確認しながら適宜日本語で補助的な解説を行うので、心配しなくてもよい。事前学習は必須なので、しっかりと取り組んでほしい。毎回自分のことに関してショートスピーチを行うのでそのつもりで。今のこの出来事や経験は英語でどう説明したらよいだろうと考えることは英語でのコミュニケーション力を高める大きな手立てとなるだろう。		
13. オフィスアワー	最初の授業で指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	How to use this book	事前学習	Look through the guidance of the textbook.
		事後学習	Write your self-introduction.
第2回	Chapter 1: Campus Life	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第3回	Chapter 2: Weekends	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第4回	Chapter 3: Japanese Culture	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第5回	Chapter 4: Healthy Living	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.

第 6 回	Chapter 6: Fashion	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 7 回	Chapter 7: Celebrations	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 8 回	Chapter 8: Travel	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 9 回	Expressing your hometown in English	事前学習	Write the tourists guide of your hometown.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 0 回	Chapter 9: Food	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 1 回	Expressing your favorite local food	事前学習	Write about your favorite Japanese food.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 2 回	Chapter 10: The Environment	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 3 回	Chapter 12: The Internet and Social media.	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 4 回	Chapter 14: A Barrier-free Society	事前学習	Do the assigned exercises.
		事後学習	Summarize the classwork.
第 1 5 回	Chapter 15: Modern Families	事前学習	Prepare for the speech.
		事後学習	Review all the classwork.
期末試験			